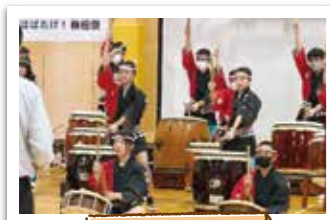


ふたばの地域学校協働活動

双葉郡の学校では積極的に多様な主体と連携した取組をすすめています。
今年も様々な分野で外部講師にご協力いただきました。

梅檀祭に向けたせんだん太鼓 合同練習

講師 野村 好彦 先生
今泉 春雄 先生



双葉南・北小学校
双葉中学校

障害ってなんだろう

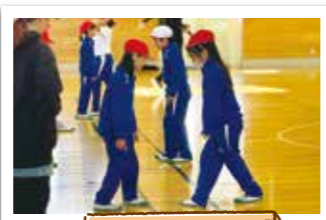
講師 亀田 沙貴 先生
(基幹相談支援センター)



広野中学校

表現運動(リズムダンス)

講師 古舘 未矩 先生



なみえ創成小学校

防災リーダーを目指そう

講師 天野 和彦 先生
(福島大学)



富岡小学校

双葉郡地域学校協働本部

2015年に発足。双葉郡8町村の地域コーディネーターが連携して地域や企業
団体との協働を進めるために立ち上げた、双葉郡の学校の『応援団』です。
学校のニーズに合った外部講師の招へい等、町村の垣根を越えて情報を共有
し合いながら、子どもたちの学びの場を広げています。

「ふたばの教育」は、双葉郡の子どもたちの笑顔、各校の特色ある取組、8町村で連携した活動を伝える広報誌です。
8町村教育委員会を中心に構成する「福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」が発行しています。

各町村の学校・教育に関するお問い合わせ

- 浪江町教育委員会 ☎ 0240-34-5710
- 富岡町教育委員会 ☎ 0240-23-7555
- 葛尾村教育委員会 ☎ 0240-29-2170
- 川内村教育委員会 ☎ 0240-38-3805
- 双葉町教育委員会 ☎ 0246-84-5210
- 楡葉町教育委員会 ☎ 0240-23-5515
- 大熊町教育委員会 ☎ 0240-23-7193
- 広野町教育委員会 ☎ 0240-27-4166

双葉郡全体の取組や本誌に関するお問い合わせ

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 事務局
(公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構)
〒960-8043 福島県福島市中町1番19号 中町ビル6階
TEL:024-581-6897 FAX:024-581-6898
HP:https://futaba-educ.net/

ふたばの教育 2025 春号

2025年2月27日発行
発行：福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会
編集：ICT活用・広報委員会(委員長：南郷市兵(大熊町立学び舎ゆめの森校長))
執筆・写真：双葉郡内各校
撮影(P6~8)：フィリップ・ジェリーマン(双葉町外国語指導助手)
アンソニー・バラード(双葉町外国語指導助手)

ふたばの教育の感想をお聞かせください!

2014年4月の創刊から、多くの方々の支えにより第15号を発行することができました。
これからも双葉郡の子どもたちの「今」をお届けします。

ご感想やご意見、応援メッセージをぜひお寄せください!右の二次元バーコードから簡単にご回答いただけます。

「こんな活動を見たい」など、皆さまの声が誌面作りの力になります!

※いただいたご意見やメッセージは、広報誌や当協議会のホームページで紹介させていただく場合があります(個人情報は公表いたしません)。

Check

アンケート
ご感想やご意見、
応援メッセージは
こちらから!



ふたばの教育 vol.15

2025 春号

特集1 ふたばのせんぱい

特集2 ふたば生徒会連合の学校自慢!



未来へ羽ばたけ!
ふたばの芽



ふたばのせんぱい

Special Interview!

「とにかくやってみる!」

積極的に



Voice 03

えんどう りょう
遠藤 瞭さん 24

東北大学大学院工学研究科 修士2年

福島県大熊町出身。大熊町立熊町小学校、大熊中学校、福島県立ふたば未来学園高校卒業。高校卒業後、新潟大学へ進学し、現在は東北大学大学院に在籍。燃料デブリの分析に関する研究を行っている。2025年3月修了予定

インタビュー
フルバージョンは
こちらから



大学院ではどんな研究をしていますか?

先日、東京電力福島第一原子力発電所2号機から初めて試験的に燃料デブリの取り出しが行われ、現在、分析が進んでいます。行われる分析には溶液に溶かして分析する方法と固体のまま分析する方法がありますが、私は固体のまま分析する方法の研究をしています。

私が研究を始めた時はまだ取り出しも行われていないので、「模擬燃料デブリ」と言って、燃料デブリはおそらくこんな組成になっているだろうと想定した物質を作りました。それをお試しで分析して、より適切な手法・順番の分析フローを考える研究をしています。

何がきっかけで今の研究テーマを選んだのですか?

震災当時は小学校4年生で、震災後、避難しなければいけなくなり、その原因となった原子力発電所に興味を持ちました。中学校のふるさと創造学の授業でふるさとについて考える機会があり、まだ中間貯蔵施設ができる前だったので、「中間貯蔵施設って何だろう」、「何でそんなものを作らなきゃいけないんだろう」、「あの事故によって出てきた廃棄物ってどんな種類があって、これから出てくる廃棄物のためにどんな処分方法が検討されているんだろう」とか、色々な疑問が湧いてきました。

まずは調べ学習をするという感じでしたが、大熊町役場の職員

の方が、大熊中学校で中学生を対象に、建設前だった中間貯蔵施設の説明会を開いてくださいました。その場で、「こういうものができるんですよ」という詳しい説明をしていただきました。そのおかげで、初めて中間貯蔵施設がどのようなものなのかをきちんと知ることができました。

「誰かが受け入れなければならない施設である」という理解もできましたが、「なぜ今でも大変なのに大熊町で受け入れなければならないのか」という気持ちもありました。厳密には私の家は中間貯蔵施設の予定地ではなかったのですが、そういう意味では私がそう考えてもいいのかという葛藤はありましたが、最終的には「大熊町がそれを受け入れるのは仕方がないことだ」と考えるようになりました。同時に、将来的に出てくる燃料デブリも同様の形でどこかで処分をしなければいけないということを考えたら、そこに自分も携われるようになりたいという思いが湧き、もっとそのための勉強がしたいと思っ進学先を決め、今の研究をしています。



大熊の自宅での誕生日!!



大熊中学校では吹奏楽部でした

0
0
0
0
0
0
0

双葉郡の学校を卒業した子どもたちは、進学したり、就職したり、様々な分野で活躍のフィールドを広げています。
今回は遠藤瞭さんに、双葉郡の学校での思い出、将来の夢についてインタビューしました!



「ふるさと創造学」を通して、どのような力が身についたと思いますか?

今思うと、ふるさと創造学がなければ日常の中で漠然と考えていただけで終わってしまうようなものが、授業の枠組みの中で考える時間があり、その話を聞いてくれる人がいました。そして、まとめたものを発表する機会もありました。ふるさと創造学があったからこそ、そういった自分の考えをまとめて人に聞いてもらうという経験を、定期的に持つことができたのだと思います。子どもが考えることでし、不完全な内容だったとは思いますが、自分の考えをしっかりと話す力が身に付いたかなと思います。

ふたば未来学園高校に進学したいと思った理由はなんですか?

いわき市内の高校か、ふたば未来かの選択だったのですが、ふたば未来を選んだ理由の一つはふるさと創造学です。ふるさと創造学のような探究の授業をふたば未来でもやっていて、自分の考えていることをベースに、先生と協力しながら探究を進めることができると思ったので、ふたば未来に行きたいと思いました。

ふたば未来学園高校にはどんな思い出がありますか?

私が高校生だった当時はまだ校舎が完成しておらず、高校生活の3年間を広野中学校の校舎で過ごしました。会津若松市で私が通っていた大熊中学校の校舎はプレハブであり、大熊町に建てられている中学校の校舎には一度も入ったことがありません。そんな私にとって中学校の校舎での生活は特別な意味を持っていました。

色々楽しいこともたくさんありました。一番楽しかったのは、海外研修です。1年生ではドイツ、2年生ではアメリカに行きました。学校外の研修でベラルーシとカリフォルニアにも行きました。それまで海外には一度も行ったことがなかったので、やはり観光する時間が特に楽しかったです。

大学院生活はどんな時に充実感がありますか?

燃料デブリの取り出しは長年延期を繰り返していて、「今年度取り出し予定」という状態がしばらく続いていたんですが、今回やっと試験的な取り出しが実現しました。自分がこれまで研究してきたこと

がある程度反映された形で分析が進んでいこう、かつ、修士論文として自分がまとめたものが今後も生かされていこうと考えると、充実感があります。

こういったインタビューを受けたりすることについて思うことは?

色々な形がありますが、「発信」は当時から積極的にやっていたと考えていました。震災直後は自分の生活が支援物資で成り立っていることが多く、感謝の気持ちや、自分達が元気を生活している様子をできる限り伝えていくことが必要だと思っていました。

最近は少し変わってきていて、もう14年も経つので、廃炉のことも緊急性のある課題ではなくなって、そういったことをみんな考えなくなってきているように感じます。処理水放出のこともそうですが、その時々で考えた方がいいことがあるはず。大熊町民でも、福島県民でも、他の地域に住んでいる方でも、みんなが興味関心を向けて考えた方がいいテーマだと思います。ただ、当事者とされる人にしか言えないこともあるかとは思っているので、発信することでそういう役割も担っていけたらと思っています。

将来の夢はなんですか?

ずっとデブリ関係のことを考えてきたので、目指すところは、大熊町もそうですが、この事故で発生した廃棄物によって悲しい思いをする人が少しでも少なくなるような状況になれるように、自分にできることをやっていきたいです。

双葉郡の後輩にメッセージを!

私の時もそうでしたが、たぶん今でも双葉郡にいる皆さんには、普通の小・中学校にあるものがなかったりもするかもしれませんが、その一方で、ちょっと特別な機会があったりすると思います。「こんなことやって何になるんだろう」なんて思うこともあると思いますが、そういう時でも積極的に色々な事に手を出して、とにかくやってみるといいんじゃないかなと思います。自分も全然英語が喋れない状態で、恐る恐る海外研修に行きましたが、本当に楽しい経験をすることができました!

修士1年の海外研修でヨーロッパへ





特集2



ふたば生徒会連合の学校自慢!

双葉郡8町村立中学校(義務教育学校含む)とふたば未来学園中学校・高等学校の生徒会で構成される「ふたば生徒会連合」の活動は今年度で8年目を迎えました。Zoom会議「ふたばミーティング」で意見交換しながら、対面会議、ふるさと創造学サミットでのセミナー企画運営等を通して絆を深めています。今回は、ふたば生徒会連合のメンバーが考えるうちの学校ならではの学校自慢を紹介します!



なみえ創成中学校生徒会



よりよい学校とは?の間から始まった生徒会活動。今年は生徒同士の理解をさらに深めるためにレクリエーションを開催しました。生徒同士だけでなく先生方も参加して下さり大いに盛り上がりました!



葛尾中学校生徒会執行部



村の方にも笑顔届けたいということで復興交流館あぜりあで去年からクリスマスコンサートを開催しています。中学生だけではなく小学生も一緒に行なっています。またシュレッダーゴミを使用して作った張子も売っており、売り上げ金額を全額ユニセフや能登半島地震に寄付しています。今回はユニセフに寄付させていただきました。これからも村の方に笑顔届けたいと思います。



双葉中学校生徒会本部



私たちの学校自慢は全校生徒が少なく、学年関係なくみんなの仲が良いことです。生徒会では、全校生徒が楽しめる企画を考えて、仲を深めています。



学び舎ゆめの森児童生徒会



私たちの学校では、毎年11月に演劇を公演しています。子どもたちだけでなく、先生と一緒に練習してたくさんのお客さんの前で発表することができました。



富岡中学校生徒会



アスリートの方にお越しいただき、楽しくスポーツに触れ、体力向上を目指しています。また、生活・学習委員会では、学習会を開き、縦割りグループで教え合い、文武両道を目指して主体的に取り組んでいます。



檜葉中学校生徒会本部



檜葉中学校は、10月の文化祭でよさこいを披露します。生徒全員が衣装を着て踊ったり、鳴子を奏でたり、リズムに合わせて大きな旗を振ったりして大迫力です。



川内小中学園生徒会本部



生徒会本部が中心となって育てたさつまいもを使い、10月に芋煮会を行いました。当日は、みんなで協力し合いながらかまどの準備と焼き芋作り、芋煮の調理を行い、最高の芋煮会にすることができました!



広野中学校生徒会執行部



全校生徒が学年を越えて交流を深めるスプリングレクという行事があります。実行委員会を中心に全校で楽しめる企画を考案し、みんなで協力して運営しました。広野中の一大イベントです。



ふたば未来学園中学校生徒会執行部



生徒会のメンバーを一新してから初めに行った活動は「校則の見直し」です。各クラスで一斉に校則見直しのクラス協議を行いました。そこで出た意見を集約して、より良い学校生活を皆で送れるように尽力中です!



ふたば未来学園高等学校生徒会執行部



ふたば未来学園高等学校には海外研修があります。ドイツ研修では、現地の高校生と交流をし、環境政策や歴史について意見交換をしました。



レポート 01 第7回 双葉郡小学校絆づくり交流会

2024年7月29日(月) in 大熊町立学び舎ゆめの森(大熊町)



集合写真

大熊町の『学び舎ゆめの森』で初めて開催された今年は、224名が大集合。エアコンの効いたアリーナや校内で、子どもたちが思い切りからだを動かしながら絆を深めました。プログラムは、各学校の実行委員の先生方と、中学生実行委員が中心となり進行。多くの方々に見守られながら、子どもたちは夏の交流を楽しみました。

ボランティアの中学生実行委員のみなさんは、イメージイラストの作成からアイスブレイクの企画運営など、あらゆる場面で大活躍！当日はサポートの中学生も加わり、小学生の後輩たちをリードしながら、笑顔あふれる交流の場を作り上げてくれました！

中学生実行委員と当日サポートスタッフが活躍！



低学年、中学年、高学年に分かれての交流活動で絆を深めました！

低学年

中学年

高学年



絆づくり中学生実行委員会 リーダーインタビュー

Leader Interview Q & A



まももとあやか 松本 彩楓さん (ふたば未来高1年)

とうかいりん ゆずき 東海林 柚貴さん (ふたば未来高1年)

Q 中学生実行委員をやりたいと思ったきっかけは？
A 自分は小学生の時に実際に絆づくり交流会に参加していて、中学生の時から実行委員をやりたいと思っていたが踏み出せなかった。今回、東海林君に誘われて参加できて良かったです。

Q やってみたい感想は？
A とても面白くて、小学生の子や他校の実行委員、当日スタッフと仲良くなれて楽しかったです。自分が小学生の時を思い出しました。低学年の子どもの無邪気さが特にかわいかったです。

Q 後輩に向けて「実行委員に参加するメリット」やおすすめポイント
A オープニングやクロージングをみんなと協力し合って仕切ったのはとても良い経験だったし、視野が広がりました。妹や弟がいない限り、年下と関わることはないのでも、とても新鮮だし、子どもたちと関わるのは純粋に楽しいです。

Q 中学生実行委員をやりたいと思ったきっかけは？
A 正直成行き。中3の時、校内放送で募集告知を呼びかけたのがきっかけです。

Q やってみたい感想は？
A 自分の小学生時代を思い出して、ちょっと懐かしく、自分もあんな風に暴れまわっていたなとちょっと恥ずかしく感じました。漫画やゲームなど共通の話題で会話が弾み、年下ということもあって気楽に話せて、小学生は自由だなと改めて思いました。

Q 後輩に向けて「実行委員に参加するメリット」やおすすめポイント
A 間違いなく、自分のスキルアップに繋がる経験。他校の実行委員とアイスブレイクを考えたり、リストバンド、缶バッジを決めたりしたことや、みんなの話を聞いて、まとめるとか、決断するとか、企画力とリーダーシップは確実に上がったと思います。1年生から6年生までを見たり、成長過程がわかるので、小学生を探究のテーマにしている生徒には絶対に役に立つと思います。

レポート 02 第9回 双葉郡中高生交流会

2024年8月1日(木) in 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)

双葉郡8町村の中高生が町村や世代を越えた交流を通じて学ぶ、1日限りのサマースクールを、昨年度に引き続き、ふたば未来学園中学校・高等学校にて開催しました！今年も例年どおり「ふたばの教育復興応援団」の秋元康さんにプロデュースいただき、8名の著名な方々を講師としてお迎えしました！普段では体験できない魅力ある6つのクラスを開講し、361名の中高生が参加しました。



Thank you special teachers

A組 未来のウェブクリエイター：生成AIで夢のサイトを創ろう！
「講師：大塚敏之さん (株式会社GALLUSYS 代表取締役社長)」
ChatGPTを活用して、ゲーム制作を行いました！



AIに興味があったのでこのクラスを選びました。ChatGPTに質問したり命令したりするのが楽しかったです。

B組 あの名曲をみんなで踊ろう！
「講師：橘ケンチさん (EXILE/EXILE THE SECOND パフォーマー) 中務裕太さん (GENERATIONS from EXILE TRIBE パフォーマー)」
YMCAやChoo Choo TRAINのダンスにチャレンジしました！



体を動かしたり、踊るのが好きなのでこのクラスを選びました。実際にやってみて先生のオーラが違いました。

C組 食の力を感じよう
「講師：平子良太さん (I'm donut? オーナーシェフ)」
大人気ドーナツ店の生ドーナツ作りを体験し試食を行いました！



友達と衝動的にドーナツ食いたいなと思って選びました。食べたドーナツは思ったよりも外側も内側もちモチモチとしてバフバフバフとして美味しかったです。

D組 シャベリ下手大集合！
「講師：古館伊知郎さん (フリーアナウンサー)」
アナウンサーになったきっかけや言葉の持つ力など様々なお話を聞き、創造力を高めました！



テレビで見たことがあるので、いろいろ教えて欲しいと思ったので選びました。先生から凄いやなオーラを感じました。

E組 2.5次元ミュージカルを“体験”しよう！
「講師：松田誠さん (株式会社ルネプランニング ファウンダー) 植木豪さん (演出家)」
プロジェクトマッピング体験や台本読みを行い、非日常的な体験をしました！



昔から演劇に興味があったので選びました。いつも見ている側だったんだけど、やる側の気持ちがわかって凄く楽しいし、面白かったです。凄く良い経験になりました。

F組 色々な夢の叶え方を知ろう
「講師：渡辺淳之介さん (音楽プロデューサー・作詞家)」
夢を持つことの大切さについて学び、BiSHの曲で作詞に挑戦しました！



もともと音楽が好きで、音楽プロデュースに興味があり選びました。本物のプロデューサーと一対一で話せて、貴重な一日でした。

レポート 03 第11回 双葉郡ふるさと創造学サミット

2024年11月30日(土) in 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)

～伝えあい、つながって、広がるふるさと ふたばの学び～

双葉郡内の児童生徒、**493名**が、町村や校種を越え地域のつながりを深めることを目的に集結しました!



オープニング・セレモニー/クロージング・セレモニー

ふたば生徒会連合が企画運営

オープニングでは学校対抗「じゃんけん列車」が大白熱! あっという間に会場が熱気に包まれました。その後は「サミットがんばるぞー!」の呼びかけに全員が力強い声で応え、一体感あふれるスタートとなりました。

クロージングでは、児童・生徒が次々と感想を発表し、時間が足りないほどでした。



学びあいセッション

11会場 計34回

「メッセージを伝える、聴く」、「互いに考え、学びを広げる」の2つのパートを含むセッションは1回30分間。考えや学びを共有し、新たな発見やつながりが生まれる充実した時間となりました。



発表・参加したみんなの感想

アイスブレイクを取り入れて、とても盛り上がっていたと思う。掛け声をするので一体感も出てこの後の発表へのやる気が少し変わるなと思いました。

始めは緊張していたけど、みんなで意見や質問をし合って交流したのが楽しかったです。

対話のまとめが、上手にできませんでした。意見を聞き、しっかりメモを取れました。

水素をいろんなところで使っていると聞いて環境問題へ目を向けて取り組みをしている良い町だと思いました。自分も水素の活用を考えてみたいと思いました。

自分たちの探求にはない「話の中で付箋などを使ってみんなの意見を集める」このことがとても印象に残りました。自分たちの探求にもつながる勉強になる発表でした。

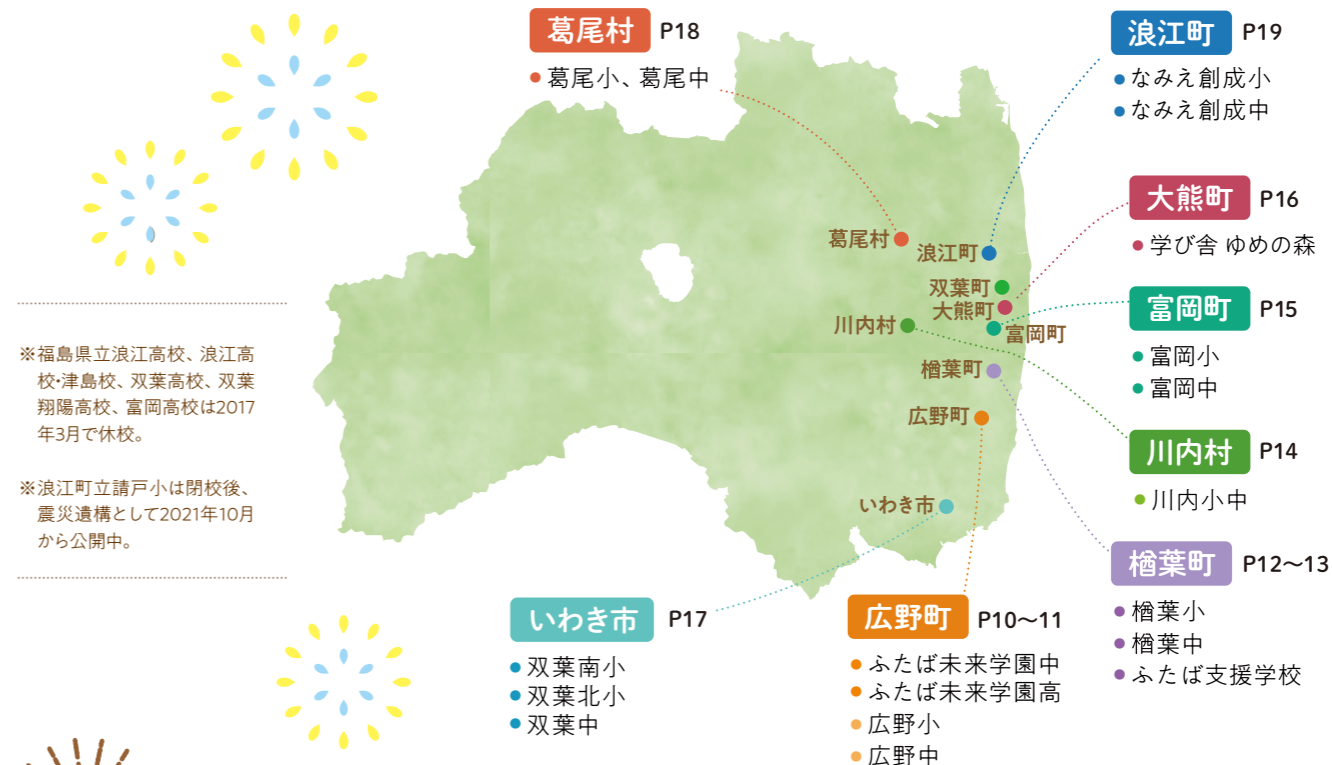
5年生でも内容もしっかりしていた。そして一番よかったのは、自分のできることを実行して自分なりに企画を考えるのは驚いた。

各校からの
レポート!

ふたばの学校のいま

双葉郡の学校は、それぞれの町や村で、避難先の地域で、日々の学びや行事に活発に取り組んでいます。学校の規模や町村がおかれた状況はそれぞれ異なりますが、双葉郡教育復興ビジョンのもと、8町村が連携した取組も継続して行っています。次のページからは各校のレポートをお届けします!

FUTABA School Map



※福島県立浪江高校、浪江高校・津島校、双葉高校、双葉翔陽高校、富岡高校は2017年3月で休校。

※浪江町立請戸小は閉校後、震災遺構として2021年10月から公開中。

ふたばの
教育を知る
キーワード

pick up! 8町村で取り組む 「双葉郡教育復興ビジョン」

子どもたちの「自ら未来を切り拓く力」を育むため、双葉郡の各校ではそれぞれの個性を生かしつつ、町村や世代の垣根を越えてつながり、双葉郡独自の魅力的な教育を進めています。

1 ふるさと創造学

「震災を通じ子どもたちが得た経験を、生きる力に」との思いから始まった、地域のひと・もの・ことを題材にした探究的な学習の総称です。双葉郡の学校全校で取り組んでいます。

2 地域との協働

地域の人々との出会いが子どもたちの学びを充実させ、子どもたちの活動が地域を元気にする、そんな相乗効果を目指し、積極的に多様な主体との協働を進めています。

3 教育を通じた絆づくり

8町村合同の交流会、小中高合同のふるさと創造学サミット、ふたば生徒会連合の活動など、学校を中心とした、町村や世代を越えたつながりを作ります。

福島県立ふたば未来学園中学校

双葉郡広野町中央一丁目6番地3
HP <https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp/>



ホームページは
コチラから

地域へ、世界へ、グローバルな視点をもつリーダーをめざしています

建学の精神「変革者たれ」のもと、未来創造学やグローバル・スタディ、演劇ワークショップ、哲学対話を通して、未来を拓く学習に取り組んでいます。



※写真は昨年度の海外研修

学習した英語表現などを実際
に活用する力を身につける
「グローバル・スタディ」世界
でも通用する表現力を実践し
ながら学んでいます。3年生の
3月のニュージーランド研修で
その成果を発揮します。



問いに対して共に考え、対話
することで思考を深める『哲学
対話』。対話を通して、他者を
認める心、多面的・多角的に物
事を捉える力が育っています。



今年度の ふるさと 創造学 では

地域の魅力を発見・発信する『未
来創造学』。双葉地区を「第2の
ふるさと」として思いを馳せ、
一人一人が見つけた「ふたば
のよさ」について、3年間を通し
て追究し、国内外にプロジェクトの
発信を行っています。



「演劇ワークショップ」では、毎回
決められたテーマをもとに、短時
間で演劇を制作して発表をしま
す。協働・創造の力とコミュニ
ケーション力が育っています。



『リーダー学』では、自らのビジョンを
掲げて社会を牽引している変革者との
出会いを通して、その価値観、創
造力、組織行動力などを学んでいます。



Let's try!

福島県立ふたば未来学園高等学校

「変革者たれ」～充実した海外研修～

文科省のWWL事業の拠点校に指定されて2年目となりました。ドイツとニューヨークへの海外研修や探究活動等を通して、広い視野で地域の課題に向き合う「変革者」を育みます。



ドイツ研修

本校開校当初から交流が続いて
いるミュンヘンのエルンストマ
ツハ校を訪問。ウェルカムディナ
ーでそれぞれの国の料理を作りま
した。私たちは豚汁やおにぎり、だ
し巻き卵などを作りました。



日本からコロンビア大学大
学院に派遣された環境省職員
の方から大学やニューヨークでの
生活などの話を聞いて、自然科
学分野の探究を行っているメン
バーを中心に質問をしました。



ニューヨーク研修

班別で自主研修を行い、それぞれ
ニューヨークの文化を体感しました。
映画「ジョーカー」で有名なブロンク
ス地区とストリートアートで溢れる
ハーレム地区に行ったチームの写真
です。実際に歩いて回り、その土地
の生活感や歴史を五感で
味わうことができました。



国連総会会議場を舞台に
UNIS-UNと呼ばれるUNIS
(国連国際学校)の生徒が主
催した国際会議に参加した
時の写真です。各国の高校
生と議論をして、交流する
ことができました。

今年度の ふるさと 創造学 では

植物を見たらその土地の気候がわか
るかどうかを探究テーマにしています。
広野町付近の植物を採取して観察し、
分類しています。



紙芝居を通して伝承する活動をしています。
紙芝居を聞いた人が家族や友人に話を広げ
てもらえるように聞いた人の記憶に残る魅力
的な紙芝居にする探究です。



子どもの居場所づくりがテーマの探究です。子
どもが参加しやすいイベントの企画・運営をし
ています。ならばこどものあそびばで流しうめ
ん・水鉄砲体験のイベントを開催しました。

広野町立広野小学校

双葉郡広野町中央3丁目1
HP <http://hironosyou.blog.fc2.com/>



ホームページは
コチラから

笑顔と元気で未来をつくる!

「ともに学び ともにチャレンジ!」を合い言葉に様々なことにチャレンジして、全校児童142名で楽しく学校生活を送っています。

4年生みんなの力を合わ
せて大きな声で歌ったよ!
(ひろの童謡まつり)



May I check in, please?
(5・6先生プリティッシュ
ヒルズ)



今年度の ふるさと 創造学 では

運動会の花形、全校リレー!



おまつりだ~!
わっしょい!
わっしょい!



「運動会 だれにも負けず 勝ち抜こう!」の
スローガンを胸に、優勝目指してかけぬけよう!

Let's try!

広野町の魅力と課題について調べ、
解決策について考えました。

広野町立広野中学校

双葉郡広野町下浅見川築地12
HP <http://hironochuweb.blog.fc2.com>



ホームページは
コチラから

「地元」と「全国」が交差する広野中

ふと顔を上げるとみかんの丘が広がる広野中学校では、にぎやかで明るい生徒たちがお互いに成長できるように学び合いながら活動しています。

ひろの童謡まつりで
地域の文化にふれました。



いじめゼロ集会、
今年度も始動!



今年度の ふるさと 創造学 では

広野町を支える人々の
大変さを知りました。



Let's communicate in English!!

広野町を
「知る・伝える・創る」
ためには



榎葉町立榎葉小学校

双葉郡榎葉町下小橋妻入31
HP <https://sites.google.com/fcs.ed.jp/narahaminamikita-e>



ホームページは
コチラから

笑顔とチャレンジがあふれるまちならは!

教育目標は「かしこく やさしく たくましく～challenge change～」。よく聞きはつきり伝えられる子を目指し、全校生157名でなかよく過ごしています!

「ヴィレッジで
サッカー体験!
楽しいな!



木戸川には
どんな
生き物が
いるかな?

今年度の
ふるさと
創造学
では

Let's try!
「榎葉の魅力を伝えよう」
歴史探究学習!



図書委員会によるピリオリオ
トル。全クラスで実施!



今年度は第3回大会。歴代最高記録にチャレンジ!

榎葉町立榎葉中学校

双葉郡榎葉町大字北田字鐘突堂2-1
HP <https://sites.google.com/fcs.ed.jp/naraha-j>



ホームページは
コチラから

全校生が生き生きと活動しています

文化祭、キャリア教育、3Cプロジェクトなど全校生で意欲的にたくさんのごことにchallengeしました。全校生の仲が良く、支え合うことでそれぞれの力を伸ばすことができました。

今年も踊りきるぞ!
お〜!



「日本橋ふくしま館MIDETTE」で、開発した商品を販売している様子です。

今年度の
ふるさと
創造学
では

模擬会社Nalysを立ち上げ、榎葉町の特産品を使った商品を開発し、文化祭、ならは農福フェス、日本橋ふくしま館MIDETTEで販売しました。
写真は、文化祭での販売の様子です。

3Cプロジェクトで、
体験を磨いています。
みんな格好良く
決まってるでしょう



模擬会社Nalysの社員として、商品展示や接客について学んでいる様子です。今年度は、どんな活動にしているかなあ



福島県立ふたば支援学校(旧 富岡支援学校)

双葉郡榎葉町大字井出字上ノ岡33番地
HP <https://futaba-sh.fcs.ed.jp/>



ホームページは
コチラから

地域と共に学び、共に育む「豊かな心」

令和6年4月1日より「ふたば支援学校」に校名を変更し、小学部9名、中学部7名、高等部13名の29名でスタートしました。令和7年1月から榎葉町の新校舎に移転し、自立と社会参加に向け、日々の学習に励んでいます。

おおすげ祭



小学部は「スマー」の発表をしました。



中学部はシューベルト「魔王」を発表しました。歌と演技で魔王の世界を堂々と表現しました。



中・高等部で作業製品販売を行いました。たくさんのお客さんへの接客もしっかりできました。高等部の体験コーナーも大盛況でした。

小学部

おいも屋さん開店!
焼き芋を配りました。



New Open!

中学部



榎葉中学校の友達と校内謎解きオリエンテーリングをしました。協力しながらの謎解きは楽しかったね!

高等部



産業現場等における実習では、実際に作業を体験しながら、事業所の雰囲気を感じたり、必要なコミュニケーションの仕方を学んだりすることができました。

今年度の
ふるさと
創造学
では

高等部では、四倉漁港の漁師さんに海で起きている問題や漁で困っていることなどをインタビューしました。



インタビューしてきた内容をみんなで協力して模造紙にまとめました。



中学部では、総合的な学習の時間に「地域から学ぼう～双葉郡をもっと知ろう～」という内容で学習を進めました。



自分たちの新しい学校が建設されている榎葉町に行って、実際に工事の様子を見ました。

川内村立川内小中学園

双葉郡川内村大字上川内字沼畑125番地
HP <https://schit.net/kawauchi/kawauchi-c/>



ホームページは
コチラから

「未来を創る」～あしたを歩く川内っ子～

義務教育学校ならではの良さを活かして、全校生が交流できるイベントなどを通して
楽しい学校生活を送っています。

6,7年生が長崎県に研修に行きました!



全学年で文化祭のビッグアート作り!



「放射線教室」で放射線に関することを学びました。



春の遠足で
いわなを
釣ったよ!



みんなで使うプールを掃除しました!



速く走るためには姿勢が大切!
まっすぐな姿勢で走るための
練習中です。



アクアマリンから
移動水族館が来て
海の生き物と
触れあいました!

今年度の ふるさと 創造学 では

Let's learn!



前期課程

出前講座で福島のよいところを
知ることができました。



後期課程

福島の復興と
未来について
学びました!

富岡町立富岡小学校

双葉郡富岡町大字小浜中央237-2
HP <https://schit.net/tomioka/tomioka12es>



ホームページは
コチラから

地域とともに成長できる 富岡小

地域の方に見守られ、助けていただきながら成長しています。
総合的な学習の時間では、富岡町へ貢献できる方法を、恩返しの気持ちで考えています!

鮎の放流をしました。
元気に育ってね!



保護者・地域の方と、花を植えました。!



EIP9でタグラグビー!
姿勢を低く、タグを
Get!



地域の方と田植えを体験しました。



Research

今年度の ふるさと 創造学 では

富岡町の産業について、
調査しました。

富岡町立富岡中学校

双葉郡富岡町大字小浜字中央237-2
HP <https://schit.net/tomioka/tomioka12jhs/>



ホームページは
コチラから

星のように輝け!みんなが主人公だ!

今年度、開校3年という一つの節目を迎えました。一昨年度のフレッシュさ、昨年度の力強さを
を引き継いで、生徒たちは日々さらなる成長をしています。

太鼓の演奏を通じて
絆が深まりました!



下村健一様によるキャリア講座を行いました。

今年度の ふるさと 創造学 では

かたりべ
伝承館で語り人さんに
お話をいただきました。



脳波で球を浮かせる
実験をしたよ!



キックボクシングで
全力パンチしました!

大熊町立学び舎ゆめの森

双葉郡大熊町大字大川原字南平2019-1
HP <https://manabiya-yumenomori.ed.jp/>



ホームページは
コチラから

地域の方とのたくさんの交流!!!

今年度の児童生徒数は44名と昨年度の2倍近くの人数となりました。
人が増え、賑やかさもパワーアップしたゆめの森、地域の方と交流する機会も多くあり、たくさんの支えをいただきながら学校生活を送っています。

Sports festival



スポーツフェスティバルは
地域の方と!

演劇「きおくの森」の公演大成功!



大熊町で育った野菜を
使用して、芋煮会を
行いました!

Let's have fun



白熱したニュースポーツ、
楽しかったよ!

自分たちが演じた
劇の絵本作りに
挑戦したよ!



今年度の ふるさと 創造学 では

自分の好きを出発点に
探求開始!



地域の方と
七夕飾りを
作ったよ!



双葉南・北小学校

いわき市錦町御宝殿56番地
HP <http://futabanankokusyo2014.blog.fc2.com/>



ホームページは
コチラから

聞いて考え伝えよう

2014年いわき市で学校を再開し、11年目となりました。
「聞いて考え伝えよう」の重点目標のもと、全校児童20名が仲よく学習しています。

双葉郡それぞれの町の
特産品や自慢を交流



双葉中の生徒と標葉せんだん太鼓を演奏

今年度の ふるさと 創造学 では

双葉町の特産品やマス
コットキャラクターを考え
発表



ふたば幼稚園の園児
と乗馬体験



埼玉県加須市立種足小学校5年生と宿泊活動で交流



Presentation

双葉町立双葉中学校

いわき市錦町御宝殿56
HP <http://futabajh.blog.fc2.com/>



ホームページは
コチラから

未来を描こう～夢ひらく双葉町～

「自ら目標を決め、努力した結果を次につなげる生徒」を目標に、全校生徒17名が協力して
明るく元気に学校生活を送っています。



調べて発見した双葉町の可能性を文化祭で
発表しました。

園児と一緒に
ハロウィンパーティー!
Trick or treat...?



今年度の ふるさと 創造学 では

双葉町の未来について、
実際に双葉町へ行き町
の皆さんと一緒に考え
たことを発表しました。



毎年、全学年で語学研修を
行っています。
今年度はブリティッシュ
ヒルズに行きました。



職場体験!
特盛ソフト
クリーム!!



双葉町の復興に向け、一般社団法人ふたば
プロジェクトのみなさんと一緒に活動しました。



葛尾村立葛尾小学校

双葉郡葛尾村大字落合字西ノ内50
HP <https://www.katsurao.org/site/es/>



ホームページは
コチラから

なりたい自分に向かって何度でも Let's Challenge!

全校児童17名、村民のみなさんに笑顔届けようと、なりたい自分に向かって様々なことに諦めず、何度でもチャレンジしています!

今年度の ふるさと 創造学 では

「広がれ!葛尾村の未来」をテーマに、葛尾村の魅力を発信することで「葛尾村に人を呼び込むためにできること」について考えたり、インタビューをしたりしています。



ふれ愛給食では、地域の方をお招きして、葛尾村産の食材を多く使った給食と一緒に食べています!



学年や校種を超えて、みんなで遊んだり、学習したりしています。



創立150周年を記念して、記念の舞踊を踊りました!



みんなで力を合わせて、レッツチャレンジ!



幼稚園から小学校、中学校へとバトンをつなぎます!



Let's try!

浪江町立なみえ創成小学校

双葉郡浪江町大字機世橋字来福寺西73
HP <https://namie.fcs.ed.jp>



ホームページは
コチラから

仲間とともにえがおで学び続けるなみえっ子

全校児童53名が、浪江町に集う子どもたちだからこそ創り出せる「学び」を笑顔で学び続けている学校です。

Thank you



お世話になった地域の方へ
プリンターを寄贈



2回目のベンチづくり
今回は町民に寄贈しました。

今年度の ふるさと 創造学 では

Let's try!

自分だけのオリジナル「大堀相馬焼」をつくる



第2回浪江町子ども議会



第2回安全マップづくり

葛尾村立葛尾中学校

双葉郡葛尾村大字落合字西ノ内50
HP <https://www.katsurao.org/site/jhs/>



ホームページは
コチラから

スモールステップで、グレードアップ!

全校生徒5名です!ひとり何役もこなしながら、自分自身の目標をていねいに見定めて、毎日の生活に取り組んでいます。

今年度の ふるさと 創造学 では

◆今年度は、「対話」を重視して総合的な学習の時間を中心に取り組んでいます。また人口の少ない地域に人を呼び込むためにはどうすればよいか?等のテーマでも意見を出し合っています。



授業の様子です。この真剣なまなざし!
見習わなくてはなりません!



山木屋中学校との交流会です!
みんな積極的に交流しています。



オンラインによる双葉ミーティングです。少し緊張した様子でした



どんなに細かいことでも、ていねいに、みんなで相談して決めています!

浪江町立なみえ創成中学校

双葉郡浪江町大字機世橋字来福寺西73
HP <https://namie.fcs.ed.jp/>



ホームページは
コチラから

なみえを愛し 未来に向かって笑顔で生きる!

開校7年目、全校生徒は25名で、重点目標の「自立・創造 自ら問い 自ら学び 自ら創る」を目指して、学校生活に取り組んでいます。

今年度の海鷗祭では、創成小も参加し、昨年度よりもパワーアップした発表を披露しました。



自分たちで栽培したかぼちゃを使った調理実習

今年度の ふるさと 創造学 では



1年生は「わが町なみえを知ろう」をテーマに、町内を探索しました。



2年生は「わが町なみえに学ぶ」をテーマに職場体験を行いました。



こども園を訪問し、園児たちと交流しました。

3年生は「わが町なみえにいかそう」をテーマに、浪江町の活性化・PRに取り組み、今年度は郷土食をソフトクリームにして販売する活動を行いました。